

令和3年度 新規採用社員研修

令和3年4月5日～27日のおよそ1ヶ月間にわたり、令和3年度の新卒採用者(4名)を対象とした「新規採用社員研修」を開催しました。昨年は3日程の研修期間であったものを、今年は現場見学も含め24種の講義へと大幅に拡大。業務概要の説明やパソコンの使い方から始まり、公物管理研修、震災遺構見学、CADを利用した土量計算と、多岐にわたる研修内容としました。

昨年よりもカリキュラムを充実させた研修とすることで、新規採用社員の基礎知識や業務に対する目的意識のさらなる向上を図り、配属先において業務環境により短時間でとけ込んで貰うための新たな取り組みでした。主な研修内容は以下の通りです。

業務概要、インフラ整備の概要、発注者支援業務の説明、工事契約図書、基礎用語・名称、東北地方整備局等見学、パソコン研修、公物管理研修(道路巡回・河川巡視)、CAD研修、図面の見方、数量計算・土量配分、積算演習、震災遺構見学、共通仕様書、安全管理、若手社員の経験談、など。

長期の研修で、終盤はさすがに疲れも溜まっていたようですが、皆さんあふれる若さで乗り切りました。全講義で配られた資料の厚さ、軽く10cm以上!分厚いファイルを抱えてスーツケースを転がし、各配属地へ旅立って行く4名の姿は、心なしか一回り大きくなったようにも思えました。

